日本設備工業新聞

発行所
（株）日本設備工業新聞社
東京都渋谷区桜丘町10-13
〒150-0031　野元第1ビル
電　話（03）3496－4774㈹
FAX（03）3464－1884
info@setubikougyo.co.jp
（購読料郵税共）年極8,000円

給水装置の被害報告へ

東日本大震災で委員会発足

引込み部の耐震性向上に活用

公益財団法人給水工事技術振興財団（浜田康敬理事長）は五月三十日、東京・新宿区の同財団会議室で第一回「東日本大震災給水装置被害状況調査報告書作成委員会」（委員長・滝沢智東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授）を開き、報告書案について本格的な検討を開始した。十一水道事業者の被災資料に基づいて給水分岐部、給水管部、第一止水栓部、水道メーター部などの被害状況を整理し、給水装置引込み部の耐震性向上に活用していく。

江郷専務理事

滝沢委員長

給水工事技術振興財団で初会合

水道管路の耐震化を進めるうえで配水管と同様に給水装置の引込み部における耐震性向上もきわめて重要だ。厚生労働省が平成二十五年三月に策定した新水道ビジョンでも道路内給水管（分岐から水道メーター間）の耐震性の向上が重点課題として提起されている。

このため同財団は東日本大震災で被災した茨城県の神栖市、福島県の福島市、郡山市、いわき市、相馬地方広域水道企業団、須賀川市、白河市、宮城県の仙台市、石巻地方広域水道企業団、大崎市、登米市を訪れ、応急復旧工事終了時の被災状況をまとめてデータベース化する作業を進めてきた。これに基づき委員会で被害箇所、原因、対策などを体系的に整理・分析していく。

委員会は学識者や被災地の水道局、関係団体などで構成。全国管工事業協同組合連合会から渡辺毅浩氏（宮城県管工業協同組合・中央管工業㈱社長）が参加している。

初会合では江郷道生専務理事が冒頭あいさつに立ち「皆さまのお力添えに感謝している。先般発生した熊本地震のこともあり、本調査は非常に重要だ。被害状況を的確・詳細に把握したい」と述べ、積極的な協力を要請した。

また滝沢委員長が「しっかりと議論し、報告書を今後の教訓として活かさなければならない」とあいさつし、活発な意見交換を促した。

報告書案では給水装置の部位別被害の概要を示した。それによると全体の被害件数は四千四百五十四件、このうち給水管部の被害が三千三百二十七件で七四・七％と突出している。ついで第一止水栓部が六百十五件で一三・八％、配水管から給水分岐部が五百四件で一一・三％となっており、水道メーター部は八件で〇・二％にとどまった。

給水分岐部では被害五百四件のうちチーズ継手が三百六件、サドル付き分水栓が百七十九件と多数を占めている。不断水割T字管は四〇～五〇㍉以上の給水分岐に使われていて被害が少ない。分水栓は使用された時期が一九七〇年代までで老朽管更新などで使用件数が少なくなっていると考えられる。

給水管部では被害三千三百二十七件のうち塩ビ管が二千四百二十九件を占めた。鉛管も四百二十八件と多いものの部分的に残存していたものが被害を受けた。ポリエチレン管二百七十件については素材改良以前の古いタイプと改良後のものが混在しており、詳細な分析が必要だ。鋼管の被害は百六十四件だった。

第一止水栓部の被害は六百十五件で本体破損が四百八十二件、継手破損が百十六件と大半を占めている。

水道耐震化・計画的更新へ

厚生審専門委　熊本地震対応で課題示す

厚生科学審議会生活環境水道部会は五月二十三日、東京・霞が関の厚生労働省共用会議室で第二回「水道事業の維持・向上に関する専門委員会」（委員長・滝沢智東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻教授）を開き、熊本地震への対応や広域連携の推進策について意見交換した。地震関連では今後の課題として施設・管路の耐震化の促進や計画的な更新の重要性などを確認した。

水道事業では人口減少社会の到来による給水人口・給水量・水道料金収入減少への対応や昭和四十～五十年代の建設投資ピークから老朽化が進む管路の更新、大規模災害に備えた施設の強靭化などが急務の課題となっている。平成八年の水道法改正で創設された指定給水装置工事事業者制度についても所在確認の取れない指定工事事業者や無届け工事・不良工事が散見されるなど早急な改善が求められている。

取り組みの重要性確認

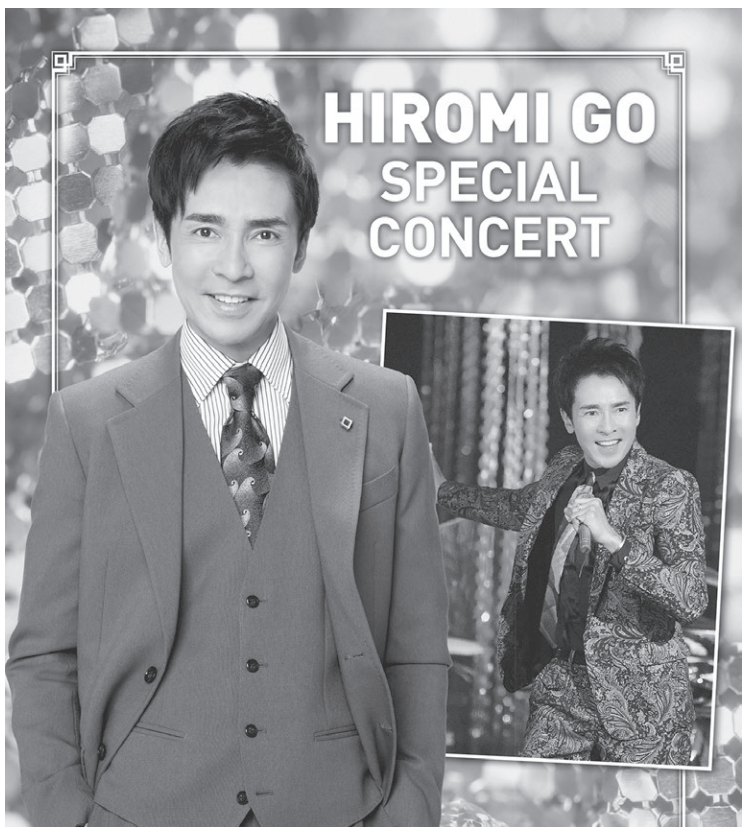
こうした状況を踏まえ、専門委では水道事業の基盤強化策や施設の更新・強靭化の促進策、指定事業者制度への更新制の導入について検討。十一月頃をめどに報告書をまとめる方針だ。

当日は熊本地震への取り組みが報告された。厚労省は地震発生即日に災害対策本部を設置し、日本水道協会（尾﨑勝理事長）と全国管工事業協同組合連合会（大澤規郎会長）に水道施設の応急復旧に向けた応援を要請。地元をはじめ全国の水道事業体・管工事組合による懸命な活動の結果、五月二十日現在で被災地全域の九九・九％が復旧した。今後の課題では小規模事業者による災害対応の難しさ（職員数・ノウハウの不足）、事業者間の連携・協力、施設・管路の耐震化促進、アセットマネジメントによる計画的な更新の重要性などを指摘し、平時からの備えが肝要だとしている。

TOTO

きれい除菌水のチカラで、
毎回手間なし除菌。
NEOREST
詳しくは弊社カタログ、ホームページをご覧ください。

2016小泉サマーセール
期間 4月21日▶9月20日



いずみ会 合同研修会
10月24日（月）～10月26日（水）
今年の合同研修会は神奈川県横浜市です。
●合同研修会会場　ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル
横浜ベイ東急ホテル
横浜ロイヤルパークホテル

●チャリティー大抽選会
●工場見学
●税務・法律相談

講演会
講師
鳥越 俊太郎さん
「ニュースの職人が伝えるニュースの読み方」

毎年好評の 海外ご優待旅行

カリブ海の真珠！キューバ
8日間

のんびりホノルル
6日間

モダンと伝統の町上海
3日間

人・街・未来へ
小泉グループ
〒167-8555 東京都杉並区荻窪4-32-5 TEL.03-3393-2511㈹
（株）小泉／（株）小泉東北／（株）小泉中央／（株）小泉多摩／（株）小泉東関東／（株）小泉北関東／（株）小泉中部
（株）小泉神奈川／（株）小泉相模／（株）小泉東海